

※入札公告を必ず確認してください。(海老名市ホームページに掲載しています)

入札案件概要書 (工事)

契約番号 : 8151

件 名	市道 297 号線拡幅改良工事	
履行場所	海老名市 上郷一丁目 地内	
工 期	令和 8 年 9 月 10 日～令和 8 年 12 月 22 日(104 日)	
工事の内容等	別紙 仕様書等 のとおり	
予定価格	4,818,000 円 (税込)	4,380,000 円 (税抜)
最低制限価格	有り (事前算定型) 詳細は海老名市最低制限価格等取扱基準及び入札説明書等を参照してください。	
入札方法等	条件付一般競争入札 (電子入札)	
質疑 (仕様等に関する事項)	所定の書式により、FAX で受け付けます。 電子入札システムの機能は使用しないでください。	

参 加 条 件	営業種目	010 土木一式 経審 - 点以上 - 点未満		○下請契約の請負代金の合計の額が5千万円（建築一式工事の場合は8千万円）以上となる場合には特定建設業の許可が必要です。 併せて、主任技術者に代えて監理技術者を配置すること。
	発注区分 詳細は入札公告で確認してください。	第 1 区分		第1・第2区分の入札に初めて参加する場合は、営業実態調査票及び認定書の写しを提出してください。
	その他の要件	告示日現在で社会保険（健康保険、厚生年金保険及び雇用保険）に加入していること。 ※法令に基づき社会保険適用を除外されている場合を除く		
	落札件数制限	あり （第1区分及び第2区分の同日開札の <u>工事</u> で、基本数 <u>1</u> 件まで） 詳細は入札説明書等を参照してください。		
配置技術者等の兼任について		本案件に配置する主任（監理）技術者及び現場代理人は、工事・コンサル・一般委託の区分を問わず同じ開札日の他の案件に配置できません。		
事前提出書類 （システム添付）		参加資格確認申請時に次のファイルを添付してください。 ファイルは一つにまとめてください。 ○告示日現在で社会保険（健康保険、厚生年金保険及び雇用保険）に加入していることを証する書類の写し。（次の（1）～（3）のいずれか） （1）経営規模等評価結果通知書・総合評定値通知書（経営事項審査）の写し <u>※経営事項審査の有効期限内の通知書を提出していれば提出不要</u> （2） <u>（同通知書発行後に社会保険に加入した場合）</u> 健康保険、厚生年金保険及び労働（雇用）保険料の領収書の写し （3） <u>（法令に基づき社会保険適用を除外されている場合）</u> 健康保険、厚生年金保険及び雇用保険の加入義務がないことの届出書		
入札時提出 （システム添付）		○入札金額積算内訳書 別添のエクセルファイル「入札金額積算内訳書（工事入札時システム添付）」をダウンロードして使用してください。 <u>システムへはPDF化して添付してください。</u>		
落札候補者が提出する書類 （FAX046-232-6574）		開札後、落札候補者は次の書類をF A Xで提出してください。 （落札候補者決定の翌開庁日午前 10 時まで。詳細は開札後 FAX で通知します。） ○配置技術者等に関する書類 ○建設業許可の確認できる書類		

案内図

市道297号線拡幅改良工事
海老名市 上郷一丁目 地内



施工条件明示書（土木工事共通）

1 工事概要

発注者	海老名市		
工事件名	市道297号線拡幅改良工事		
工事場所	海老名市	上郷一丁目	地内
工事目的	本工事は、4.0m未満の道路を4.0mに拡幅し生活環境の向上を図るものです。		
工事概要	・撤去工 1.0式 ・土工 1.0式 ・舗装工 1.0式 ・附帯工 1.0式 ・仮設工 1.0式		
契約工期	令和8年9月10日 から 令和8年12月22日 まで		
事業区分	☒ 補助金事業	☒ 国庫	
		☐ 県費	
設計区分	☐ 市単独事業		
	☒ 単独積算		
	☐ 合算積算		工事
			工事

2 積算諸条件

主たる工種 : 道路改良工事

施工地域・工事場所区分 : 交通影響あり（2）

契約保証の方法 : 補正なし

施工パッケージの使用（一部使用含む） : ☒ 有 ☐ 無

週休二日制確保工事該当の有無 : ☐ 発注者指定（当初計上） ☐ 受注者希望（変更補正） ☒ 無

【使用歩掛及び単価等】

☒ 土木工事標準積算基準書	適用年版：令和	7 年	7 月
☒ 諸経費率	適用年版：令和	7 年	7 月
☐ 下水道用設計標準歩掛表	適用年版：令和	年版	
☒ 土木工事資材等単価表	適用年版：令和	8 年	6 月
☐ 刊行物	適用年版：令和	年	月
☐ 特別調査	適用年版：令和	年	月
☐ 海老名市見積単価等	適用年版：令和	年	月
☐ その他（ ）	適用年版：令和	年	月

3 施工条件

【1】 工程関係	1	他工事による当工事の着手、完了時期の制約について	☐ 無 (他工事件名等) 支障木抜根工事 ☒ 有 (工期、内容等) 9月中旬着手予定
	2	当工事における施工時期の制約について	☒ 無 (制約を受ける施工内容等) ☐ 有 (施工時期等)
	3	施工時間について	☒ 昼間施工 (その他特記事項) ☐ 夜間施工 (一部含む)
	4	官公庁ほか関係機関との調整、協議について	☒ 無 (関係機関名) ☐ 有
	5	工事着手前に地上物件(家屋調査)、地下埋設物、埋蔵文化財の事前事後調査、又は、移設等の制約について	☒ 無 (対象内容) ☐ 有
	※ただし、施工上必要となる地下埋設物調査については、施工計画書に明示し、必要な措置を講じること。また、書面により報告すること。		
	6	設計工程上見込んでいる休日日数等作業不能日数について	☒ 無 (詳細内容、作業不能日数等) ☐ 有
【2】 用地関係	1	工事用地等の未処理部分について(用地買収状況について)	☐ 無 (用地未取得部分等) 民地内のフェンス ☒ 有 (取得予定年月日等) 9月30日までに撤去予定(補償)
	2	工事用仮設道路、資材置場等の用地の借用について	☒ 無 (使用場所、期間、借用条件、復旧方法等) ☐ 有
	3	使用後の復旧条件	☒ 無 (復旧内容等) ☐ 有
【3】 公害関係	1	公害防止のため、施工方法、建設機械、作業時間等の制限について	☐ 無 (建設機械と制限内容) 騒音規制法、振動規制法 ☒ 有 (作業時間と制限内容) 騒音規制法、振動規制法
	2	水替期等の処理で特別な対策等の必要性について	☒ 無 (対策内容) ☐ 有

【４】 安全対策 関係	1	安全施設等の指定について（有毒ガス及び酸素欠乏等の対策として換気設備の設置等の含む）	☒ 無 （指定内容） ☐ 有
	2	鉄道、ガス、電気等の施設と近接する工事の施工方法、作業時間の制限	☐ 無 （対象内容） ☒ 有 ☐ 鉄道 ☐ ガス ☐ 電気 ☐ 電話 ☐ 上水道 ☒ 下水道 ☐ その他（ ）
	3	交通誘導警備員の配置について	☐ 無 （１）交通誘導員の配置 2名を配置（交代要員なし） ☒ 有 （２）配置期間 作業期間中
【５】 工事用道 路関係	1	一般道路を搬入路として使用する場合の制約について	☒ 無 （搬入経路・使用期間等の制限） ☐ 有 （搬入中・後の処置）
	2	仮設道路を設置する場合の制約について	☒ 無 （仮設道路に関する安全施設） ☐ 有 （工事後の措置、維持補修内容）
【６】 建設副産 物関係	1	建設発生土が発生する場合について	☒ 無 （建設発生土の処分先） ☐ 有 搬入先： 住所： 業者： 電話：
	2	建設副産物及び建設廃棄物が発生する場合について	☐ 無 （対象内容） ☒ コンクリート塊 ☒ アスファルト・コンクリート塊 ☐ 建設発生木材 ☒ 有 ☐ 建設汚泥 ☐ 建設混合廃棄物 ☐ 金属くず ☐ その他（ ）
	※建設廃材指定登録工場に限る。工場側の指示を遵守すること ※この工事が「資源の有効な利用の促進に関する法律（平成３年法律第48号）」の規定より再生資源利用促進計画の作成を要する工事である場合は、受注者は、工事の施工前に発注者に再生資源利用計画を提出し、その内容を説明しなければならない、工事の完成後に発注者から請求があったときは、その実施状況を発注者に報告しなければならない。		
【７】 工事支障 物件	1	工事支障物件について（地下埋設物含む）	☒ 無 （対象内容） ☐ 有 ☐ 電柱 ☐ 上水道 ☐ 下水道 ☐ 電話 ☐ ガス管 ☐ 架空電線 ☐ 標識・看板 ☐ その他（ ）

【8】 薬液注入 関係	1	薬液注入について	☒ 無	(対象内容)
			工法区分： 使用材料： ☐ 有 施工範囲、削孔数： 注入量： 施工管理基準等：	
【9】 その他	1	工事現場発生品がある 場合について	☒ 無	(品名、数量等)
			☐ 有	
	2	支給材料及び貸与品が ある場合について	☒ 無	(品名、数量等)
			☐ 有	
	3	特殊・特定使用材料を 使用する場合及び資材 搬入等に制限がある場 合について	☒ 無	(品名、数量、搬入制限等)
			☐ 有	
	4	発生売却品評価額（ス クラップ等）を計上し ている場合について	☒ 無	(品名等)
			☐ 有	
	5		☐ 無	
			☐ 有	
	6		☐ 無	
			☐ 有	

※明示されない施工条件、明示事項が不明確な場合は、契約書等の関連する条項に基づき甲・乙協議により決定すること。

工 事 説 明 書

(特 記 仕 様 書)

工事件名 : 市道 2 9 7 号線拡幅改良工事
工事場所 : 海老名市 上郷一丁目 地内
路線名称 : 海老名市道 2 9 7 号線

1. 工事目的

○本工事は、4.0m未満の道路を 4.0mに拡幅し、生活環境の向上を図るものです。

2. 工事概要

- 工種内訳
撤去工 1.0 式、土 工 1.0 式、舗装工 1.0 式、附帯工 1.0 式、
仮設工 1.0 式

3. 仕様（施工管理）

○本工事は、「海老名市土木工事共通仕様書及び土木工事施工管理基準」に基づき施工すること。但し、測定基準において、施工延長 L=40.0m とあるものは、L=20.0m とし、L=20.0m 未満については、2 箇所とすること。

○海老名市土木工事共通仕様書及び土木工事施工管理基準に基づき舗装工については以下の試験を行うこととする。試験は各工種の施工数量により対応すること。

- ・アスファルト舗装工

- 現場密度の測定・コア抜き (1000 m²未満 3 個 別途 1000 m²毎に 1 個追加)

- ・上層路盤

- 現場密度の測定 (300 m²以上 3 個実施)

- ・下層路盤

- 現場密度測定 (300 m²以上 3 個実施)

- プルフローリング試験 (段階確認項目)

○ 上記の試験については海老名市土木工事施工管理基準により、300 m²未満は小規模により省略することもできる。

ただし、監督員が必要と認める場合は施工計画段階の協議により決定する。

○型枠材料については、熱帯雨林材の使用を避けること。

○海老名市公共工事デジタル写真管理要領に基づき工事写真を作成し、提出することとする。詳細については、監督員と協議し、決定する。

○道路計画高の確認、丁張確認等、必要段階に於いては、監督員と立会いを行い、承認の上、施工を進めること。

○再生砂(RC-10)を使用する際、六価クロムについて、平成 3 年 8 月 23 日付環境庁告示第 46 号に規定されている測定方法に基づき、予め土壤汚染に係る環境基準に適合することを確認し、製造者側から試験結果報告書を入手し、六価クロムに係る環境基準の適合確認をした上で、監督員に報告書を提出し、確認を受けることとする。

各工事で 1 購入先当たり 1 検体の試験結果報告書を提出すること。

○舗装切断時に発生する濁水処理に係る仕様については、別添『舗装切断時に発生する

『濁水処理に係る特記仕様書』を参照すること。

- 上記以外の内容については、監督員と協議し、施工計画書に明記し、監督員の承諾を得ること。

4. 工程管理

- 契約工期

令和8年9月10日 から 令和8年12月22日 まで

5. 安全対策

- 道路使用許可条件（交通管理、施工時間等）を遵守すること。
尚、利用者の安全上、やむを得ず施工時間が許可範囲を超えてしまう場合、監督員に連絡するとともに、交通管理者（所轄警察署）に連絡をすること。
- 工事区域の安全対策を十分に施し、道路管理者、道路利用者及び現場作業員等の安全を確保すること。
- 特に作業を行わない時は第三者が工事区域内に入り込まないように、安全対策（安全柵・チューブライト等により）を十分に行うこと。尚、特に夜間の安全管理については、留意すること。
- 工事実施期間中に現場を開放する場合（工事実施時間帯以外）、現況道路高と計画道路高に段差が生ずる時には、必ず安全対策（看板設置・段差擦り付け・通行止め等）を講ずること。
- 風雨が強い場合、工事現場の見周りを行い、工事看板、仮囲い、仮設電力、重機等に破損、転倒等が無いか確認し、監督員に状況を報告すること。又、気象情報で注意報及び警報が発令された場合においては、特に留意すること。

6. 仮設備関係

- 仮設備（現場事務所等）の建設については、位置・規模等について監督員の承諾を得ること。
- 工事用電力、用排水、水道、仮設駐車場、現場事務所に係る建設費用等は、請負業者の負担とする。
- 詳細については、施工計画書に明記し、監督員の承諾を得ること。

7. 道路関係

- 一般道路を工事用資器材等の搬入に使用するので、搬入経路・使用期間等を明確にすること。
- 当該工事車両については、速やかに工事ヤード内に誘導し、道路上で工事車両が待機し、一般車及び公共交通車両の通行を妨げないようにする。
- 一般道路を使用するときは、関係法令を遵守し、道路管理者、交通管理者等の許可を得ること。尚、大型車両を使用する場合、規定の路線を利用し、十分に速度を落とし、安全に留意して走行すること。
- 施工段階で、周辺道路の通行止めを行う場合、所轄警察署の許可を得ることは基より、通行止めの予告・案内看板等により、車両及び人を安全に誘導すること。尚、看板設置位置等については、監督員と協議し、承諾を得ること。
- 一般道路を通行止めとする場合、その期間が極力短くなる創意工夫した提案を監督員に行う。
- 夜間にて、資材等の搬入を行う場合に於いても、十分留意すること。
- 資機材の搬入路については、拡幅道路であるため、監督員と協議を行い、決定すること。
- 詳細については、施工計画書に明記し、監督員の承認を得ること。

8. 建設副産物関係

- 建設残土の処分地は『愛川町田代処分場』です。
- その他建設副産物の処分は、建設リサイクル法等を遵守し、再生工場に搬入すること。
- 詳細については、施行計画書に明記し、監督員の承認を得ること。
- また、この工事が資源の有効な利用の促進に関する法律（平成3年法律第48号）の規定により再生資源利用促進計画の作成を要する工事である場合は、受注者は、工事の施工前に発注者に再生資源利用促進計画を提出し、その内容を説明しなければならず、工事完成後に発注者から請求があったときは、その実施状況を発注者に報告しなければならない。

9. 海老名環境マネジメントシステム関係

- 本工事は、海老名市環境マネジメントシステムの公共工事環境配慮マニュアル適用工事であり、下表の事項に留意し施工すること。

適用工事件名	市道297号線拡幅改良工事
作業	配慮事項
掘削	周辺住民の生活環境への影響を考慮し、騒音・振動の発生を最小限に抑える。
排出土処理	排出土中に他の廃棄物が混入しないように分別する。
埋戻し(盛土)	現場内排出土及び再生砕石を使用する。
コンクリート取壊し	取り壊したものは必ず再生プラントへ搬入する。(マニフェスト管理) 周辺住民の生活環境への影響を考慮し、騒音・振動の発生を最小限に抑える。
構造物路盤工	基礎材は、再生砕石を使用する。 路盤材は再生材(RC-10・RM-40・RC-40)を使用する。
舗装工(車道及び歩道)	舗装材には一部を除き、リサイクル材を採用する。
工事作業機械車両運行	低騒音・低振動型作業機械を使用する。
舗装工(車道及び歩道)	排ガス規制に適合した作業機械・車両(ディーゼルエンジン)を使用する。
工事作業機械車両運行	周辺住民の生活を妨げないように作業時間帯を設定する。 工事用作業機械・車両の待機中はアイドリングをしない。

10. その他工事全般

- 工事に際し、現場代理人及び主任技術者は設計図書を熟知し、現場代理人に於いて、作業中現場に常駐すること。又、現場代理人は、施工計画書を作成し、事前に監督員の承諾を得ること。尚、本工事の内容に応じた安全訓練等の具体的な計画も作成し、明記すること。
- 事前調査は十分に行い、不明確な部分については打合せ簿により施工前に監督員と協議し、確認を得ること。尚、工事打合せ簿においては、指定の書式を使用すること。
(海老名市ホームページ内 『工事提出書類様式集』 参照)
- 工事に際し、事前に関係者へ十分な周知を図るとともに、民地内に立ち入る場合は、了解を得てから実施すること。
- 基準点、測量点及び境界点は、工事着手前に点検し、保存の必要があれば確保し、関係者より復元等を求められた場合は、早急に復元すること。

- 騒音、振動及び粉塵等により利用者に対し不利益になりうる事は、工事期間・時間及び施工方法を十分配慮し、施工に当たること。
- 掘削位置直近の構造物（ブロック塀等）は、施工前に状態を確認し、必要であれば、地権者に立会いを求め、調整内容を記録し、監督員に報告すること。
- 工事現場から発生する不要物等が、工事エリア外に飛散、流出等しないよう必要な処置を講じること。
- 請負業者(下請業者含)は、関連法令の遵守の上、公共事業という認識を常に持ち責務を果たすこと。
- 道路占用物件(ライフライン等)の移設及び撤去が生ずる場合、関係機関との調整を十分行い、監督職員に報告し、工事を円滑に履行すること。
- 設計図書及び工事説明書(特記仕様書)に記載されていない事項については、監督職員と協議の上、履行すること。
- 本説明書(特記仕様書)の他に、『**海老名市公共工事共通事項書**』も併せて熟読し、本件の施工にあたること。
- 工事提出書類については十分把握し、適正に作成すること。
(海老名市ホームページ内 『工事提出書類様式集』 参照)
- 本工事は、『**道路改良工事**』で積算しています。
- その他の条件等については、別途『**施工条件明示書**』を参照すること。
- 本仕様書に定めのない事項については、その都度、監督員と請負者で協議を行い、決定していくこと。

舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書

(趣旨)

第1条 この特記仕様書は、海老名市土木工事共通仕様書等に定めるもののほか、舗装版切断時に発生する濁水の処理に関し必要な事項を定めるものとする。

(適用)

第2条 海老名市が発注する工事で、舗装版の切断作業に適用する。

(処理方法)

第3条 舗装版切断作業時に発生した濁水については、産業廃棄物の汚泥として処理すること。

(条件)

第4条 受注者は、産業廃棄物の汚泥の処分業許可を得ている業者と委託契約を締結しなければならないものとする。

- 2 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、産業廃棄物の汚泥の収集運搬業許可を得ている業者と委託契約を締結しなければならないものとする。

(提出書類等)

第5条 受注者は、施工計画書に舗装版切断時に発生する濁水の収集・運搬・処分に関する計画書、受注者と処分業者とで締結した委託契約書の写し及び処分業者の許可証の写しを添付すること。また、受注者が濁水の収集運搬を委託した場合は、受注者と収集運搬業者とで締結した委託契約書の写し及び収集運搬業者の許可証の写しを添付すること。

- 2 受注者は、産業廃棄物管理票（紙マニフェスト）又は電子マニフェストにより、適正に処理されていることを確かめるとともに、監督員に提示しなければならない。

(その他)

第6条 この特記仕様書に疑義が生じた場合は、別途監督員と協議するものとする。

令和 8 年 度

市 道 2 9 7 号 線 拡 幅 改 良 工 事 設 計 書

工 事 番 号	R8-01, R8-01 (06)	施 工 年 度	令和8年度
工 事 名 称	市道 2 9 7 号線拡幅改良工事		
工 事 場 所	海老名市 上郷一丁目 地内		
施 工 主	海老名市	工事概要 工事延長L=64.0m 撤去工（舗装版切断、舗装版破碎、構造物取壊し） 土工（掘削、床掘、発生土埋戻） 舗装工（車道舗装工） 附帯工（地先境界ブロック） 仮設工（交通誘導警備員）	
設 計 区 分	道路改良工事		
路 線 名	市道297号線		
工 事 期 間	令和 8年 9月 10日 ～ 令和 8年 12月 22日		
工 事 日 数	104 日		
部 課 名	まちづくり部道路整備課		
積 算 担 当	生活道路係		
合 計 額			
工 事 価 格			
消費 税 相 当 額			

本 工 事 内 訳 書

工事区分	工 種	種 別	細 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
本工事費	道路改良工事							場所区分:一般交通影響有り(2)
		撤去工		式	1			A- 1号内訳書
		土工		式	1			A- 2号内訳書
		舗装工		式	1			A- 3号内訳書
		附帯工		式	1			A- 4号内訳書
		仮設工		式	1			A- 5号内訳書
	直接工事費計							
	共通仮設費計							
		共通仮設費		式	1			
	純工事費							
		現場管理費		式	1			
工事原価								
		一般管理費		式	1			

[illegible]

工事区分

工 種

種 別

細別

單位

数 量

單 價

金額

摘要

工事価格

消費税相当額	
--------	--

合計額	
-----	--

--	--

--	--

間 接 工 事 明 細 書

設 計 条 件					
工 種	道路改良工事	工事日数(内冬日数)	104日/52日	共通仮設費対象外額	
場所区分	一般交通影響有り(2)	支給品費		現場管理費対象外額	
前払い率	補正なし	処分費		一般管理費対象外額	
契約保証区分	補正なし	処分除外費		支給共仮費対象外額	
積雪寒冷地域	なし				

算 出 基 礎

※補正係数を乗じる場合は係数を乗じて、小数3位四捨五入2位止めとする。

$$\begin{aligned} \text{共 通 仮 設 費} &= \text{対象額} \times \text{率} \\ &= \quad \times \quad \% \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{対象額} &= \text{直接工事費} + \text{支給品費} + \text{事業損失防止施設費} - \text{共通仮設費対象外額} - \text{支給共仮費対象外額} + \text{準備費処分費} - \text{処分除外費} \\ &= \quad + \quad + \quad - \quad - \quad + \quad - \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{率} &= \text{対象額による率} \times \text{地域補正係数} \\ &= \quad \% \times \\ &= \quad \% \times \rightarrow \therefore \% \end{aligned}$$

$$\text{対象額による率} = \quad \%$$

$$\begin{aligned} \text{現 場 管 理 費} &= \text{対象額} \times \text{率} \\ &= \quad \times \quad \% \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{対象額} &= \text{直接工事費} + \text{共通仮設費} + \text{支給品費} + \text{支給品費(現)} - \text{現場管理費対象外額} - \text{支給現場費対象外額} - \text{処分除外費} \\ &= \quad + \quad + \quad + \quad - \quad - \quad - \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{率} &= \text{対象額による率} \times \text{地域補正係数} \\ &= \quad \% \times \\ &= \quad \% \times \rightarrow \therefore \% \end{aligned}$$

$$\text{対象額による率} = \quad \%$$

間 接 工 事 明 細 書

算 出 基 礎

一 般 管 理 費 = 対象額×対象額による率+対象額×契約保証補正值－調整額
= × % + × %－
=

対象額 = 工事原価－一般管理費対象外額－処分除外費＋一般管理補正額
= － － ＋
=

対象額による率 = %

A- 1号		撤去工					1式当たり	内訳書
名	称	規	格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
舗装版切断		舗装版種別:アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚:15cm以下		m	7			施工P-01
舗装版切断濁水処理工		北部地区		式	1			C- 1号単価表
舗装版破碎積込（電線共同溝工）				m ²	172			施工P-02
殻運搬		AS殻		m ³	8			施工P-03
		殻発生作業:舗装版破碎 積込工法区分:機械積込(騒音対策不要,舗装版厚15cm超)又は(騒音対策必要) DID区間の有無:有り						
		運搬距離:5.5km以下						
廃材処理料(北部地区)		A S 殻		m ³	8			
構造物とりこわし工(機械施工) 昼間		無筋構造物 制約無,低騒音・低振動 対策必要		m ³	2			C- 2号単価表
殻運搬		無筋コンクリート殻		m ³	2			施工P-04
		殻発生作業:コンクリート(無筋)構造物とりこわし 積込工法区分:機械積込 DID区間の有無:有り						
		運搬距離:5.7km以下						
廃材処理料(北部地区)		無筋C o 殻		m ³	2			
車止め撤去工				式	1			B- 1号明細書

A- 1号内訳書(施工P-01)		積算単位:m	標準単価:
舗装版切断			
舗装版種別:アスファルト舗装版、アスファルト舗装版厚:15cm以下			

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K			15.05			
	K 1	コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型) 湿式	供/日	10.24		
	K 2					
	K 3					
	K 4					
	K 5					
労務 R			58.43			
	R 1	特殊作業員	人	19.96		
	R 2	土木一般世話役	人	10.88		
	R 3	普通作業員	人	8.92		
	R 4					
	R 5					
材料 Z			26.52			
	Z 1	コンクリートカッタ(ブレード) / 径18インチ	枚	22.39		
	Z 2	ガソリン / レギュラー, スタンド渡し	ℓ	2.81		
	Z 3					
	Z 4					
	Z 5					
市場 S						

P' =

$$\times \left\{ \left(\frac{10.24}{100} \times \frac{15.05}{10.24} \right) \times \frac{15.05}{10.24} \right.$$

$$+ \left(\frac{19.96}{100} \times \frac{58.43}{19.96+10.88+8.92} + \frac{10.88}{100} \times \frac{58.43}{19.96+10.88+8.92} + \frac{8.92}{100} \times \frac{58.43}{19.96+10.88+8.92} \right) \times \frac{58.43}{19.96+10.88+8.92}$$

$$+ \left(\frac{22.39}{100} \times \frac{26.52}{22.39+2.81} + \frac{2.81}{100} \times \frac{26.52}{22.39+2.81} \right) \times \frac{26.52}{22.39+2.81}$$

$$\left. + \frac{100-15.05-58.43-26.52}{100} \right\} =$$

A- 1号内訳書 (施工P-02) 舗装版破碎積込 (電線共同溝工)				積算単位: m ²		標準単価:	
---------------------------------------	--	--	--	----------------------	--	-------	--

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K			4.52			
	K 1 ハックホ (ローラ、超小旋回型、クレーン機能付き) 賃料 / 山積0.28m ³ (平積0.2m ³) 1.7t吊 (排出ガス対策型含む)	日	4.52			
	K 2					
	K 3					
	K 4					
	K 5					
労務 R			93.06			
R 1	普通作業員	人	54.11			
R 2	土木一般世話役	人	23.57			
R 3	運転手 (特殊)	人	15.38			
R 4						
R 5						
材料 Z			2.42			
Z 1	軽 油 / ハトール給油	ℓ	2.42			
Z 2						
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

×

{

(

4.52

100

×

)

×

4.52

4.52

+

(

54.11

100

×

+

23.57

100

×

+

15.38

100

×

)

×

93.06

54.11+23.57+15.38

+

(

2.42

100

×

)

×

2.42

2.42

+

100-4.52-93.06-2.42

100

}

=

A- 1号内訳書(施工P-03)		積算単位: m ³	標準単価:
殻運搬/AS殻 殻発生作業: 舗装版破碎、積込工法区分: 機械積込(騒音対策不要, 舗装版厚15cm超) 又は (騒音対策必要) DID区間の有無: 有り、運搬距離: 5.5km以下			

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単価(東京)	単 価	摘 要
機械K			44.05			
	K 1 タンポトラック オンロード・ディーゼル	供/日	44.05			
	K 2					
	K 3					
	K 4					
	K 5					
労務R			39.87			
	R 1 運転手(一般)	人	39.87			
	R 2					
	R 3					
	R 4					
	R 5					
材料Z			16.08			
	Z 1 軽 油/ハトール給油	ℓ	16.08			
	Z 2					
	Z 3					
	Z 4					
	Z 5					
市場S						

P' =

$$\begin{aligned}
 &\times \left\{ \left(\frac{44.05}{100} \times \frac{44.05}{44.05} \right) \times \frac{44.05}{44.05} \right. \\
 &+ \left(\frac{39.87}{100} \times \frac{39.87}{39.87} \right) \times \frac{39.87}{39.87} \\
 &+ \left(\frac{16.08}{100} \times \frac{16.08}{16.08} \right) \times \frac{16.08}{16.08} \\
 &\quad \left. + \frac{100-44.05-39.87-16.08}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

A- 1号内訳書(施工P-04)		積算単位: m ³	標準単価:
殻運搬／無筋コンクリート殻			
殻発生作業:コンクリート(無筋)構造物とりこわし、積込工法区分:機械積込、DID区間の有無:有り、運搬距離:5.7km以下			

名 称		規 格	単 位	構 成 比	単価(東京)	単 価	摘 要
機械K				40.77			
	K 1	タンポトラック オンロード・ディーゼル	供/日	40.77			
	K 2						
	K 3						
	K 4						
	K 5						
労務R				44.82			
	R 1	運転手(一般)	人	44.82			
	R 2						
	R 3						
	R 4						
	R 5						
材料Z				14.41			
	Z 1	軽 油／パトロール給油	ℓ	14.41			
	Z 2						
	Z 3						
	Z 4						
	Z 5						
市場S							

P' =

×
{
(
 $\frac{40.77}{100}$
×

)
×

 $\frac{40.77}{40.77}$

+
(
 $\frac{44.82}{100}$
×

)
×

 $\frac{44.82}{44.82}$

+
(
 $\frac{14.41}{100}$
×

)
×

 $\frac{14.41}{14.41}$

+

 $\frac{100-40.77-44.82-14.41}{100}$
}
=

A- 2号内訳書(施工P-01)		積算単位: m ³	標準単価:
掘削			
土質:土砂、施工方法:上記以外(小規模)、施工数量:標準			

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単価(東京)	単 価	摘 要
機械K			26.01			
	K 1 バックホウ(クローラ型) 標準型 排対型(2次基準)	供/日	26.01			
	K 2					
	K 3					
	K 4					
	K 5					
労務R			62.89			
	R 1 運転手(特殊)	人	62.89			
	R 2					
	R 3					
	R 4					
	R 5					
材料Z			11.10			
	Z 1 軽 油/ハートル給油	ℓ	11.10			
	Z 2					
	Z 3					
	Z 4					
	Z 5					
市場S						

P' =

×

{

(

26.01

100

×

)

×

26.01

26.01

+

(

62.89

100

×

)

×

62.89

62.89

+

(

11.10

100

×

)

×

11.10

11.10

+

100-26.01-62.89-11.10

100

}

=

A- 2号内訳書(施工P-02)		積算単位:m ³	標準単価:
床掘り			
土質:土砂、施工方法:上記以外(小規模)			

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単価(東京)	単 価	摘 要
機械K			18.73			
	K 1 バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型 排対型(2次基準)	供/日	18.73			
	K 2					
	K 3					
	K 4					
	K 5					
労務R			74.16			
	R 1 運転手(特殊)	人	40.26			
	R 2 普通作業員	人	33.90			
	R 3					
	R 4					
	R 5					
材料Z			7.11			
	Z 1 軽 油/ハートル給油	ℓ	7.11			
	Z 2					
	Z 3					
	Z 4					
	Z 5					
市場S						

P' =

$$\begin{aligned} &\times \left\{ \left(\frac{18.73}{100} \times \text{-----} \right) \times \text{-----} \frac{18.73}{18.73} \right. \\ &+ \left(\frac{40.26}{100} \times \text{-----} + \frac{33.90}{100} \times \text{-----} \right) \times \text{-----} \frac{74.16}{40.26+33.90} \\ &+ \left(\frac{7.11}{100} \times \text{-----} \right) \times \text{-----} \frac{7.11}{7.11} \\ &\quad \left. + \text{-----} \frac{100-18.73-74.16-7.11}{100} \right\} = \end{aligned}$$

A- 2号内訳書(施工P-03)		積算単位:m ³	標準単価:
埋戻し／発生土			
施工方法:上記以外(小規模)			

名 称		規 格	単 位	構 成 比	単価(東京)	単 価	摘 要
機械K				8.87			
	K 1	バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型 排対型(2次基準)	供/日	8.27			
	K 2	タンパ 及びランマ ランマ	供/日	0.60			
	K 3						
	K 4						
	K 5						
労務R				87.15			
	R 1	普通作業員	人	50.03			
	R 2	特殊作業員	人	19.35			
	R 3	運転手(特殊)	人	17.77			
	R 4						
	R 5						
材料Z				3.98			
	Z 1	軽 油／パトロール給油	ℓ	3.14			
	Z 2	ガソリン／レギュラー, スタンド渡し	ℓ	0.84			
	Z 3						
	Z 4						
	Z 5						
市場S							

P' =

$$\times \left\{ \left(\frac{8.27}{100} \times \frac{8.87}{8.27+0.60} + \frac{0.60}{100} \times \frac{8.87}{8.27+0.60} \right) \times \frac{8.87}{8.27+0.60} \right.$$

$$+ \left(\frac{50.03}{100} \times \frac{87.15}{50.03+19.35+17.77} + \frac{19.35}{100} \times \frac{87.15}{50.03+19.35+17.77} + \frac{17.77}{100} \times \frac{87.15}{50.03+19.35+17.77} \right) \times \frac{87.15}{50.03+19.35+17.77}$$

$$+ \left(\frac{3.14}{100} \times \frac{3.98}{3.14+0.84} + \frac{0.84}{100} \times \frac{3.98}{3.14+0.84} \right) \times \frac{3.98}{3.14+0.84}$$

$$\left. + \frac{100-8.87-87.15-3.98}{100} \right\} =$$

[illegible]

A- 3号内訳書(施工P-01)		積算単位: m ²	標準単価:
表層 (車道・路肩部)			入力数量: 50mm
平均幅員: 3.0m超、1層当り平均仕上り厚: 実数入力、材料: 密粒度アスコン(20)、瀝青材料種類: プライムコート PK-3			

	名	称	／	規	格	単	位	構	成	比	単	価	(東京)	単	価	摘	要
機械K										1.38							
	K 1	アスファルトフィニッシャ賃料／ホイール型、舗装幅2.3～6.0m					日			0.88							
	K 2	タイヤローラ(普通型)賃料／質量 13～14 t (排出ガス対策型含む)					日			0.14							
	K 3	ロートローラ(マカダム)賃料／質量 10～12 t (排出ガス対策型含む)					日			0.13							
	K 4																
	K 5																
労務R										10.17							
	R 1	普通作業員					人			3.66							
	R 2	運転手(特殊)					人			2.06							
	R 3	特殊作業員					人			2.03							
	R 4	土木一般世話役					人			0.73							
	R 5																
材料Z										88.45							
	Z 1	再生アスファルト混合物／再生密粒度アスコン(13)					t			80.70							
	Z 2	アスファルト乳剤／PK-3 プライムコート用					ℓ			7.17							
	Z 3	軽 油／ハトロール給油					ℓ			0.49							
	Z 4																
	Z 5																
市場S																	

P' =

$$\begin{aligned} &\times \left\{ \left(\frac{0.88}{100} \times \frac{1.38}{0.88+0.14+0.13} + \frac{0.14}{100} \times \frac{1.38}{0.88+0.14+0.13} + \frac{0.13}{100} \times \frac{1.38}{0.88+0.14+0.13} \right) \right. \\ &+ \left(\frac{3.66}{100} \times \frac{10.17}{3.66+2.06+2.03+0.73} + \frac{2.06}{100} \times \frac{10.17}{3.66+2.06+2.03+0.73} + \frac{2.03}{100} \times \frac{10.17}{3.66+2.06+2.03+0.73} + \frac{0.73}{100} \times \frac{10.17}{3.66+2.06+2.03+0.73} \right) \\ &+ \left(\frac{80.70}{100} \times \frac{88.45}{80.70+7.17+0.49} + \frac{7.17}{100} \times \frac{88.45}{80.70+7.17+0.49} + \frac{0.49}{100} \times \frac{88.45}{80.70+7.17+0.49} \right) \\ &\left. + \frac{100-1.38-10.17-88.45}{100} \right\} = \end{aligned}$$

A- 3号内訳書(施工P-02)		積算単位:m ²	標準単価:
不陸整正			
補足材料の有無:有り、補足材料平均厚さ:28mm以上34mm未満			

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単価(東京)	単 価	摘 要
機械K			16.98			
K 1	モータグレーダ 土工用 排対型(2014年規制)	供/日	13.60			
K 2	ロートローラ(マカダム)賃料/質量 10～12 t (排出ガス対策型含む)	日	1.70			
K 3	タイヤローラ(普通型)賃料/質量 13～14 t (排出ガス対策型含む)	日	1.68			
K 4						
K 5						
労務R			56.56			
R 1	運転手(特殊)	人	27.80			
R 2	普通作業員	人	11.45			
R 3	特殊作業員	人	8.93			
R 4	土木一般世話役	人	8.38			
R 5						
材料Z			26.46			
Z 1	再生粒度調整碎石/RM-40	m ³	21.30			
Z 2	軽 油/バートル給油	ℓ	5.16			
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場S						

P' =

$$\begin{aligned} &\times \left\{ \left(\frac{13.60}{100} \times \frac{16.98}{13.60+1.70+1.68} + \frac{1.70}{100} \times \frac{16.98}{13.60+1.70+1.68} + \frac{1.68}{100} \times \frac{16.98}{13.60+1.70+1.68} \right) \right. \\ &+ \left(\frac{27.80}{100} \times \frac{56.56}{27.80+11.45+8.93+8.38} + \frac{11.45}{100} \times \frac{56.56}{27.80+11.45+8.93+8.38} + \frac{8.93}{100} \times \frac{56.56}{27.80+11.45+8.93+8.38} + \frac{8.38}{100} \times \frac{56.56}{27.80+11.45+8.93+8.38} \right) \\ &+ \left(\frac{21.30}{100} \times \frac{26.46}{21.30+5.16} + \frac{5.16}{100} \times \frac{26.46}{21.30+5.16} \right) \times \frac{26.46}{21.30+5.16} \\ &\left. + \frac{100-16.98-56.56-26.46}{100} \right\} = \end{aligned}$$

A- 3号内訳書(施工P-03)		積算単位:m ²	標準単価:
上層路盤(車道・路肩部)			入力数量: 150mm
材料:再生粒度調整碎石 RM-40、全仕上り厚:実数入力、施工区分:1層施工			

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単価 (東京)	単 価	摘 要
機械K			11.57			
	K 1 モータグレーダ 土工用 排対型 (2014年規制)	供/日	7.99			
	K 2 ロートローラ (マカダム) 賃料/質量 10～12 t (排出ガス対策型含む)	日	1.00			
	K 3 タイヤローラ (普通型) 賃料/質量 13～14 t (排出ガス対策型含む)	日	0.99			
	K 4					
	K 5					
労務R			37.08			
	R 1 運転手 (特殊)	人	16.31			
	R 2 普通作業員	人	5.97			
	R 3 特殊作業員	人	5.32			
	R 4 土木一般世話役	人	4.37			
	R 5					
材料Z			51.35			
	Z 1 再生粒度調整碎石/RM-40	m ³	47.84			
	Z 2 軽 油/バートル給油	ℓ	3.03			
	Z 3					
	Z 4					
	Z 5					
市場S						

P' =

×

{

(

$\frac{7.99}{100}$

×

+

$\frac{1.00}{100}$

×

+

$\frac{0.99}{100}$

×

)

×

$\frac{11.57}{7.99+1.00+0.99}$

+

(

$\frac{16.31}{100}$

×

+

$\frac{5.97}{100}$

×

+

$\frac{5.32}{100}$

×

+

$\frac{4.37}{100}$

×

)

×

$\frac{37.08}{16.31+5.97+5.32+4.37}$

+

(

$\frac{47.84}{100}$

×

+

$\frac{3.03}{100}$

×

)

×

$\frac{51.35}{47.84+3.03}$

+

$\frac{100-11.57-37.08-51.35}{100}$

}

=

A- 3号内訳書(施工P-04)		積算単位:m ²	標準単価:
下層路盤 (車道・路肩部)			入力数量: 200mm
全仕上り厚:実数入力、施工区分:1層施工			

名 称 / 規 格			単 位	構 成 比	単価(東京)	単 価	摘 要
機械K				5.72			
	K 1	モータグレーダ 土工用 排対型(2014年規制)	供/日	3.95			
	K 2	ロートローラ(マカダム) 賃料/質量 10～12 t (排出ガス対策型含む)	日	0.49			
	K 3	タイヤローラ(普通型) 賃料/質量 13～14 t (排出ガス対策型含む)	日	0.49			
	K 4						
	K 5						
労務R				18.33			
	R 1	運転手(特殊)	人	8.06			
	R 2	普通作業員	人	2.95			
	R 3	特殊作業員	人	2.63			
	R 4	土木一般世話役	人	2.16			
	R 5						
材料Z				75.95			
	Z 1	再生クラッシャーラン/RC-40	m ³	74.21			
	Z 2	軽 油/バトリール給油	ℓ	1.50			
	Z 3						
	Z 4						
	Z 5						
市場S							

P' =

$$\begin{aligned} &\times \left\{ \left(\frac{3.95}{100} \times \frac{5.72}{3.95+0.49+0.49} + \frac{0.49}{100} \times \frac{5.72}{3.95+0.49+0.49} + \frac{0.49}{100} \times \frac{5.72}{3.95+0.49+0.49} \right) \right. \\ &+ \left(\frac{8.06}{100} \times \frac{18.33}{8.06+2.95+2.63+2.16} + \frac{2.95}{100} \times \frac{18.33}{8.06+2.95+2.63+2.16} + \frac{2.63}{100} \times \frac{18.33}{8.06+2.95+2.63+2.16} + \frac{2.16}{100} \times \frac{18.33}{8.06+2.95+2.63+2.16} \right) \\ &+ \left(\frac{74.21}{100} \times \frac{75.95}{74.21+1.50} + \frac{1.50}{100} \times \frac{75.95}{74.21+1.50} \right) \\ &\left. + \frac{100-5.72-18.33-75.95}{100} \right\} = \end{aligned}$$

[illegible]

A- 4号内訳書(施工P-01)		積算単位:m	標準単価:
地先境界ブロック			
作業区分:設置、ブロック規格:A種(120×120×600)、基礎碎石規格:再生クラッシュラン RC-40			
均し基礎コンクリート規格:18-8-25(高炉)、養生工の有無:有り			

	名	称	／	規	格	単	位	構	成	比	単価(東京)	単	価	摘	要
機械K										0.32					
	K 1	バックホ(クロー、標準)賃料／山積0.8m³(平積0.6m³)(排出ガス対策型含む)					日			0.32					
	K 2														
	K 3														
	K 4														
	K 5														
労務R										75.88					
	R 1	普通作業員					人			28.62					
	R 2	土木一般世話役					人			15.24					
	R 3	特殊作業員					人			13.42					
	R 4	型わく工					人			11.70					
	R 5														
材料Z										23.80					
	Z 1	地先境界ブロック／120×120×600(A)					個			13.62					
	Z 2	生コンクリート(高炉セメント)／18-8-25(20), W/C指定無し					m³			9.20					
	Z 3	再生クラッシュラン／RC-40					m³			0.69					
	Z 4	軽油／パトロール給油					ℓ			0.29					
	Z 5														
市場S															

P' =

×

{

0.32

100

×

)

×

0.32

0.32

+

(

28.62

100

×

+

15.24

100

×

+

13.42

100

×

+

11.70

100

×

)

×

75.88

28.62+15.24+13.42+11.70

+

(

13.62

100

×

+

9.20

100

×

+

0.69

100

×

+

0.29

100

×

)

×

23.80

13.62+9.20+0.69+0.29

+

100-0.32-75.88-23.80

100

}

=

A- 5号		仮設工					1式当たり	内訳書					
名	称	規	格	単	位	数	量	単	価	金	額	摘	要
交通誘導警備員B				現場		1						C- 3号単価表	
計													

[illegible]

C- 1号

1式当たり

单価表

舗装版切断濁水処理工
北部地区

[illegible]

C-

2号

11

單

構造物とりこわし工(機械施工) 昼間

無筋構造物 制約無, 低騒音・低振動対策必要

[illegible]

C- 3号

1現場当たり

单価表

交通誘導警備員 B

[illegible]

市道 2 9 7 号線拡幅改良工事				材料費 (30)		材料調書全体明細表		
							(単位:円)	
名	称	規	格	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
生コンクリート(高炉セメント)		18-8-25(20), W/C指定無し		m³	1.769			
再生粒度調整砕石		RM-40		m³	16.318			
再生クラッシャーラン		RC-40		m³	14.166			
再生アスファルト混合物		再生密粒度アスコン(13)		t	27.711			
ガソリン		レギュラー, スタンド渡し		ℓ	6.043			
軽 油		ハートロール給油		ℓ	154.945			
アスファルト乳剤		PK-3 フライムコート用		ℓ	277.261			
地先境界ブロック		120×120×600(A)		個	94.021			
コンクリートカッタ(プレート)		径18インチ		枚	0.017			
材料費計								

[illegible]

市道 2 9 7 号線拡幅改良工事

数 量 計 算 書

まちづくり部 道路整備課

数量総括表

上段：変更

下段：当初

工事区分	工 種	種 別	規 格	単位	数量	備 考
道路 改良工事	撤去工	舗装版切断	5cm以下	m	7	t=5cm
		舗装版切断濁水処理工	北部地区	m 3	0.008	
		舗装版切断濁水運搬	ダンプトラック2t積級	回	1	
		舗装版破碎積込	BH0.28m ³	m 2	172	
		運搬	AS殻 D10 t ・ L=5.5km以下	m 3	8	
		廃材処理料（北部地区）	A s 殻	m 3	8	
		構造物とりこわし工	無筋構造物	m 3	2	
		殻運搬	無筋構造物 D10 t ・ L=5.7km以下	m 3	2	
		廃材処理料（北部地区）	無筋Co	m 3	2	
		車止め		本	2	
	土工	掘削		m 3	11	
		床掘		m 3	11	
		発生土埋戻	発生土	m 3	23	
	舗装工	表層	再生密粒度(13) ・ t=50mm	m 2	220	
		不陸整正	平均厚t=30mm	m 2	170	
		上層路盤	RM-40 ・ t=150mm	m 2	50	
		下層路盤	RC-40 ・ t=200mm	m 2	47	
	附帯工	地先境界ブロック設置工	A種 120mm×120mm	m	57	
	仮設工	交通誘導警備員B	昼間	現場	1	交代要員無

撤 去 工

撤去工集計

上段：変更

下段：当初

種別	規格	単位	数量	摘要
舗装版切断	5cm以下	m	7.8	
舗装版切断濁水処理工	北部地区	m ³	0.008	
舗装版切断濁水運搬	ダンプトラック2t積級	回	1.0	
舗装版破碎積込	BH0.28m ³	m ²	172.5	
運搬	AS殻 D10 t・L=5.5km以下	m ³	8.6	
廃材処理料（北部地区）	A s 殻	m ³	8.6	
構造物とりこわし工	無筋構造物	m ³	2.5	
殻運搬	無筋構造物 D10 t・L=5.7km以下	m ³	2.5	
廃材処理料（北部地区）	無筋Co	m ³	2.5	
車止め		本	2.0	

撤去工

上段：変更

下段：当初

名称	計算式	数量	単位
舗装版切断 5cm以下 t=5cm	【撤去平面図参照】（アスファルト舗装版t=5cm） $L = \overset{\textcircled{1}}{2.4} + \overset{\textcircled{2}}{2.4} + \overset{\textcircled{3}}{3.0}$	7.8	m
舗装版切断濁水処理工 北部地区	$V = 0.023 \times 0.050 \text{ m} \times 7.8 \text{ m}$ [舗装版深さ] [舗装版切断延長]	0.008	m ³
舗装版切断濁水運搬 タンクトラック2t積級	$N = (0.008 \text{ m}^3 \times 1.10 \text{ t/m}^3) \div 2 \text{ t/回}$ [濁水処分量] [濁水密度]	1.00	回
舗装版破碎積込 BH0.28m ³	【撤去平面図及び撤去面積計算書参照】 $A = 172.5$	172.5	m ²
運搬 AS殻 D10 t・L=5.5km以下	$V = 172.5 \times 0.05$	8.6	m ³
廃材処理料（北部地区） As殻	$V = 172.5 \times 0.05$	8.6	m ³
構造物とりこわし工 無筋構造物	【撤去平面図及び構造物取壊し集計表参照】 $V = 2.5$	2.5	m ³
殻運搬 D10 t・L=5.7km以下	$V = 2.5$	2.5	m ³
廃材処理料（北部地区） 無筋Co	$V = 2.5$	2.5	m ³
車止め	【撤去平面図参照】 $N = 2.0$	2.0	本

撤 去 面 積 計 算 書

上段：変更

下段：当初

アスファルト舗装版t=5 cm

測点	距離 (m)	幅員 (m)	平均幅員 (m)	面 積 (m ²)	備 考
No. 0-4. 75				18. 97	CAD求積
No. 0	—	2. 54			
No. 1	20. 000	2. 54	2. 54	50. 80	
No. 2	20. 000	2. 54	2. 54	50. 80	
IP. 1 (No. 2+17. 591)	17. 591	2. 54	2. 54	44. 68	
IP. 1 (No. 2+17. 591)	—	3. 00	2. 77		No. 3
No. 3	2. 409	3. 00	3. 00	7. 23	
合計	60. 000			172. 48	

工 種	種 別	作業区分			構造物取壊し (m3) (有筋)		構造物取壊し (m3) (無筋)		備考
		計算式	数量	単位	単位数量	数量	単位数量	数量	
撤去工									
	車止め基礎		1.0	箇所			0.06	0.06	単位数量計算書
	地先境界ブロック		54.6	m			0.044	2.4	単位数量計算書
合 計						0.0		2.5	

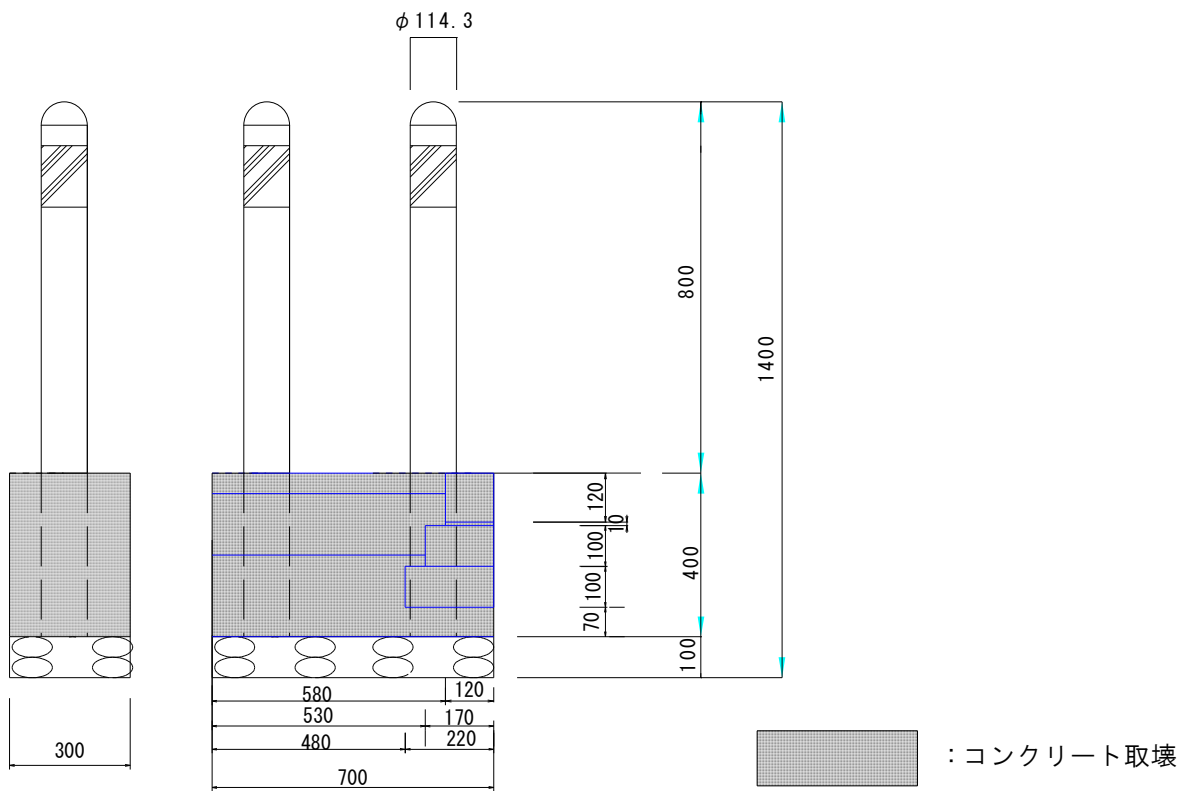
単位数量計算書

種 別	撤去工
細 別	車止め撤去

車止め設置工 S=1 : 10

(CK-114HY-90K・青銅色)

(Co基礎・□300×300)



1.0 箇所

項 目	規 格	算 式			数 量	単 位
車止めポール					2.00	本
コンクリート取壊し	無筋	$(0.4 \times 0.7 \times 0.3) - 0.114^2 \times \pi / 4 \times 2.0$			0.064	m3
殻運搬・処分					0.064	m3

単位数量計算書

種 別	撤去工			
細 別	地先境界ブロック撤去			
150 150 10 100 100 50 50 150 地先境界ブロック モルタル (敷均し用 1:3) 基礎コンクリート (18-8BB) 基礎碎石 (RC-40)				
				10.0 m 当り
項 目	規 格	算 式	数 量	単 位
コンクリート取壊し	無筋コンクリート	$(0.15 \times 0.16 + 0.2 \times 0.1) \times 10.00$	0.440	m3
殻運搬・殻処分			0.440	m3

± I

土工集計

上段：変更
下段：当初

種別	規格	単位	数量	摘要
掘削		m 3	11. 8	
床掘		m 3	11. 5	
発生土埋戻	発生土	m 3	23. 3	

土工

上段：変更
下段：当初

名称	計算式			数量	単位
掘削	【土量計算書(掘削)参照】				
	V=	11.79	=	11.8	m ³
床掘	【土量計算書(床掘)・単位数量計算書参照】				
	V=	11.51		11.5	m ³
発生土埋戻 発生土	V=	5.1	7.4	3.5	
		民地埋戻①	民地埋戻②	民地埋戻③	
		2.9	4.4		
		民地埋戻④	民地埋戻⑤	=	23.3
					m ³

土 量 計 算 書

上段：変更
下段：当初

測点	距離 (m)	掘 削			備 考
		断面積 (m ²)	平均断面積 (m ²)	土量 (m ³)	
No. 0	—	0.16	—	—	
No. 1	20.000	0.21	0.19	3.70	
No. 2	20.000	0.23	0.22	4.40	
IP. 1 (No. 2+17.591)	17.591	0.19	0.21	3.69	
合計	57.6			11.79	

測点	距離 (m)	床 掘			備 考
		断面積 (m ²)	平均断面積 (m ²)	土量 (m ³)	
No. 0	—	0.18	—	—	
No. 1	20.000	0.20	0.19	3.80	
No. 2	20.000	0.21	0.21	4.10	
IP. 1 (No. 2+17.591)	17.591	0.20	0.21	3.61	
合計	57.6			11.51	

舗装工

上段：変更

舗装工集計

下段：当初

種別	規格	単位	数量	摘要
表層	再生密粒度(13)・t=50mm	m ²	220.8	
不陸整正	平均厚t=30mm	m ²	170.1	
上層路盤	RM-40・t=150mm	m ²	50.6	
下層路盤	RC-40・t=200mm	m ²	47.8	

名称	計算式	数量	単位
車道舗装 表層 再生密粒度(13)・t=50mm	【舗装平面図・面積計算書参照】 A= 220.86 =	220.8	m ²
車道舗装 不陸整正 平均厚t=30mm	【舗装平面図参照】 A= 220.86 - 50.68 =	170.1	m ²
車道舗装 上層路盤 RM-40・t=150mm	【舗装平面図・面積計算書参照】 A= 50.68 =	50.6	m ²
車道舗装 下層路盤 RC-40・t=200mm	【舗装平面図・面積計算書参照】 A= 47.80 =	47.8	m ²

面 積 計 算 書

車道舗装
表層（再生密粒度（13）・t=50mm）

上段：変更
下段：当初

測点	距離 (m)	幅員 (m)	平均幅員 (m)	面 積 (㎡)	備 考
No. 0-4. 75				18. 97	CAD求積
No. 0	—	3. 38			
No. 1	20. 000	3. 38	3. 38	67. 60	
No. 2	20. 000	3. 38	3. 38	67. 60	
IP. 1 (No. 2+17. 591)	17. 591	3. 38	3. 38	59. 46	
IP. 1 (No. 2+17. 591)	-	3. 00	3. 19		No. 3
No. 3	2. 409	3. 00	3. 00	7. 23	
合計	60. 000			220. 86	

上層路盤（RM-40・t=150mm）

上段：変更
下段：当初

測点	距離 (m)	幅員 (m)	平均幅員 (m)	面 積 (㎡)	備 考
No. 0	—	0. 88			
No. 1	20. 000	0. 88	0. 88	17. 60	
No. 2	20. 000	0. 88	0. 88	17. 60	
IP. 1 (No. 2+17. 591)	17. 591	0. 88	0. 88	15. 48	
合計	57. 591			50. 68	

車道舗装 下層路盤（RC-40・t=200mm）

上段：変更
下段：当初

測点	距離 (m)	幅員 (m)	平均幅員 (m)	面 積 (㎡)	備 考
No. 0	—	0. 83			
No. 1	20. 000	0. 83	0. 83	16. 60	
No. 2	20. 000	0. 83	0. 83	16. 60	
IP. 1 (No. 2+17. 591)	17. 591	0. 83	0. 83	14. 60	
合計	57. 591			47. 80	

附帯工

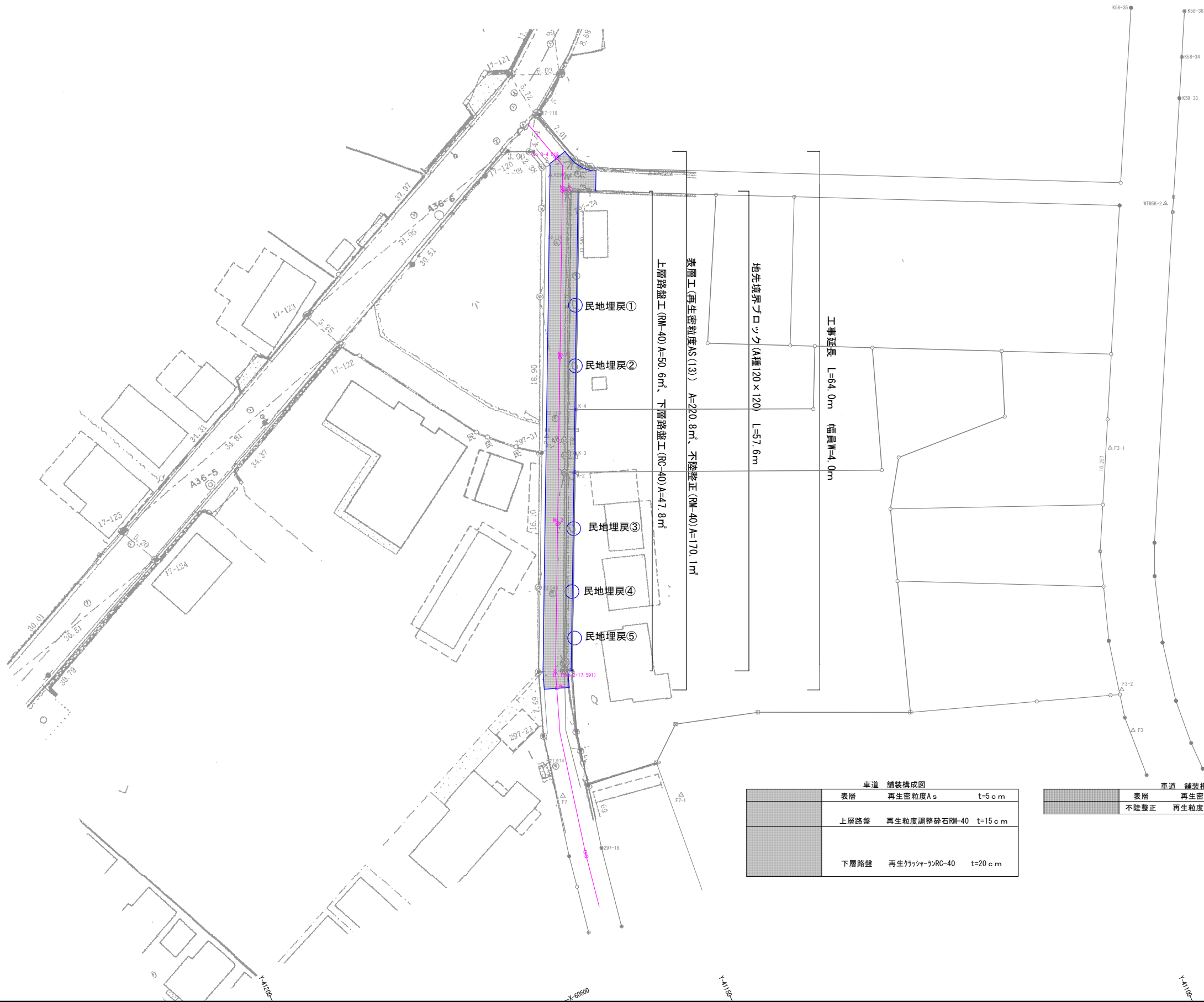
附帯工集計

上段：変更
 下段：当初

種別	規格	単位	数量	摘要
地先境界ブロック設置工	A種 120mm×120mm	m	57.6	

計画平面図

縮尺 1 : 250



境界標凡例	
●	市コンクリート杭
⊙	市金属標
●	市金属標
田	民コンクリート杭
⊙	民金属標
⊙	民金属標
◇	木杭
○	計算点
△	基準点

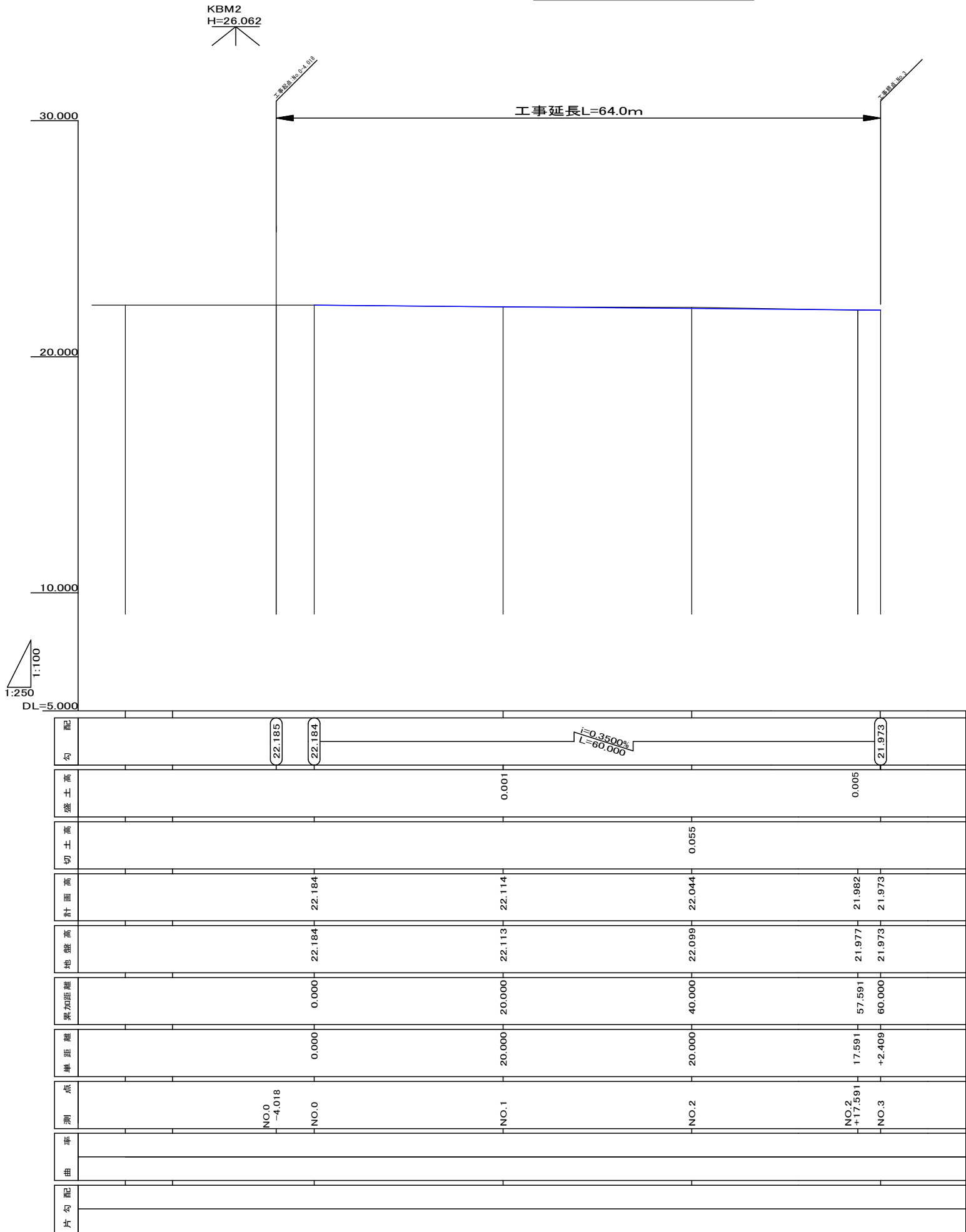
車道 舗装構成図			
表層	再生密粒度As	t=5cm	
上層路盤	再生粒度調整砕石RM-40	t=15cm	
下層路盤	再生ラッシャーランRC-40	t=20cm	

車道 舗装構成図			
表層	再生密粒度As	t=5cm	
不陸整正	再生粒度調整砕石RM-40	t=3cm	

工 事 名	令 和 8 年 度 市道297号線拡幅改良工事		
路 線 名	市 道 2 9 7 号 線		
工事場所	海老名市上郷一丁目地内		
図 面	計 画 平 面 図	縮 尺	1 : 2 5 0
図面番号	全 6 葉 の 内 第 1 号		
神 奈 川 県 海 老 名 市 役 所			

計画縦断面図

V=1:100
H=1:250

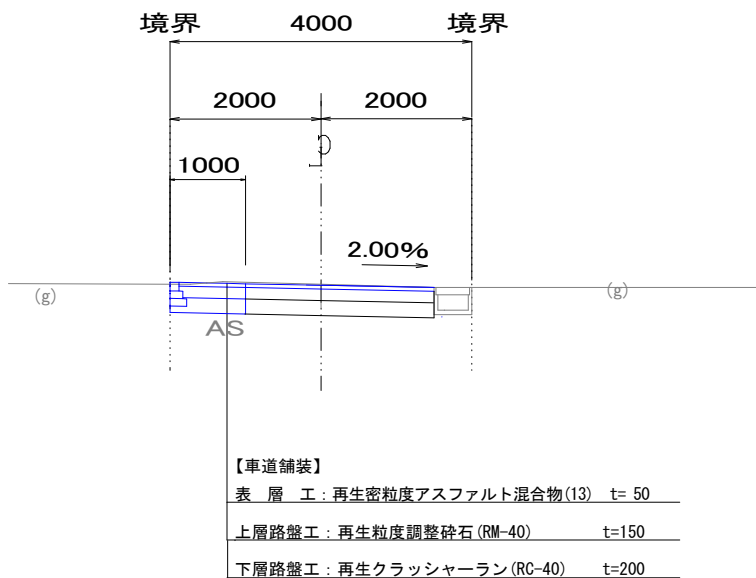


KBM2
H=26.062

KBM3
H=37.556

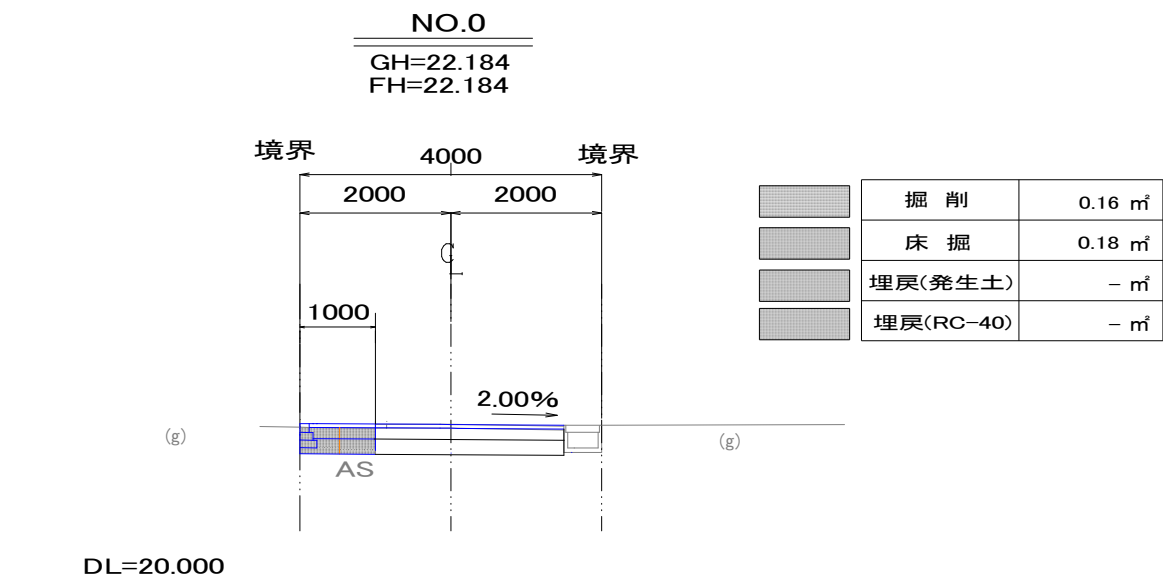
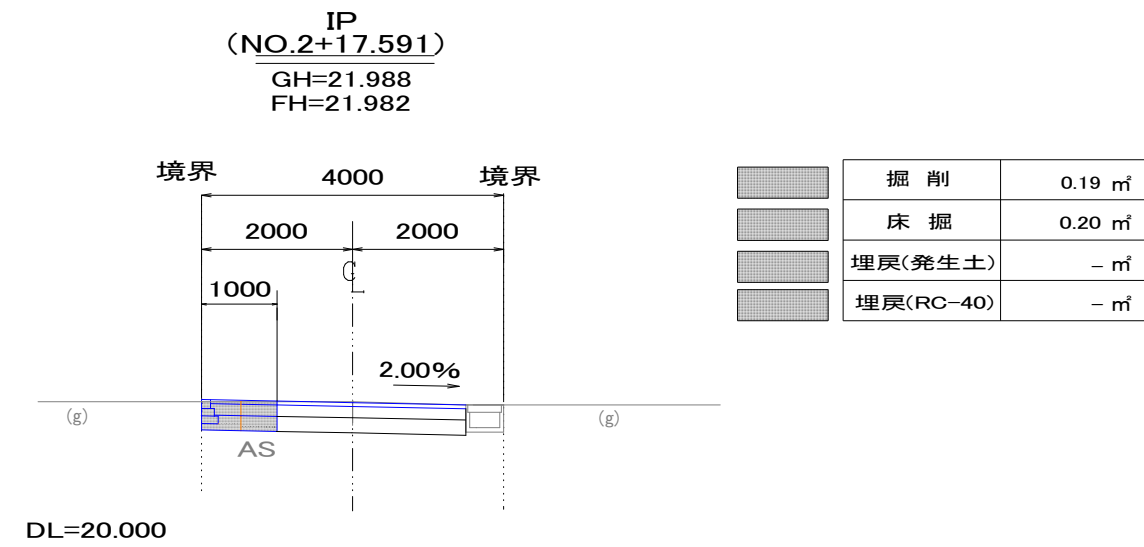
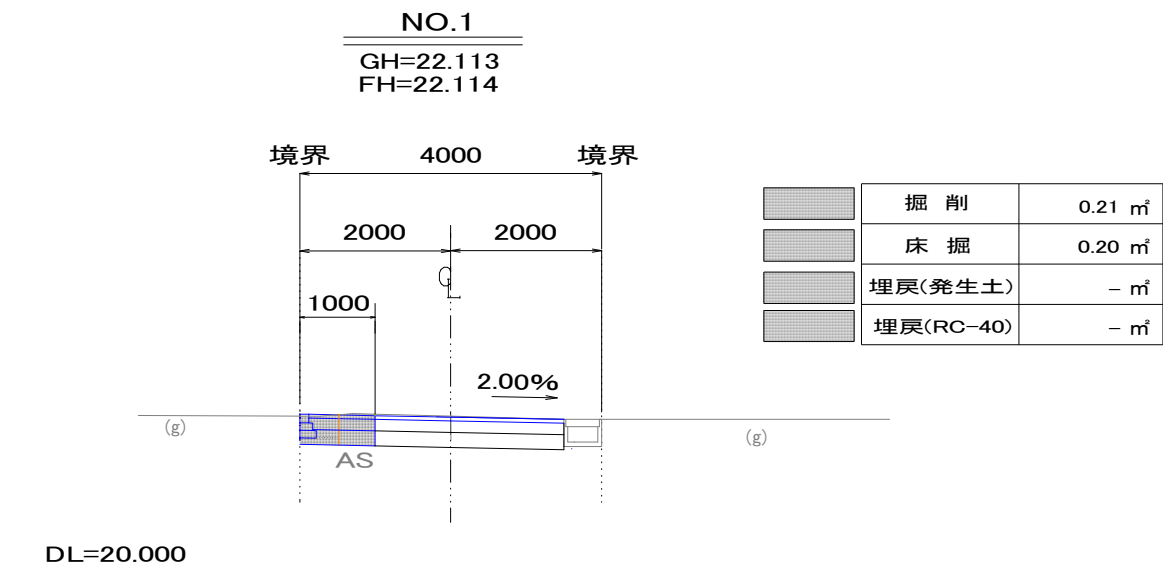
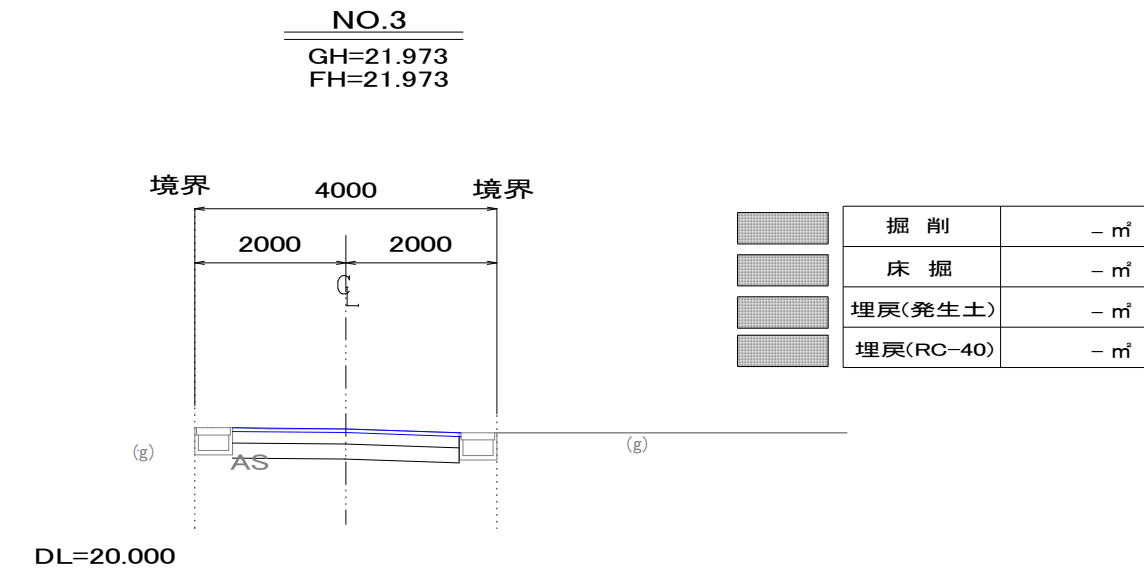
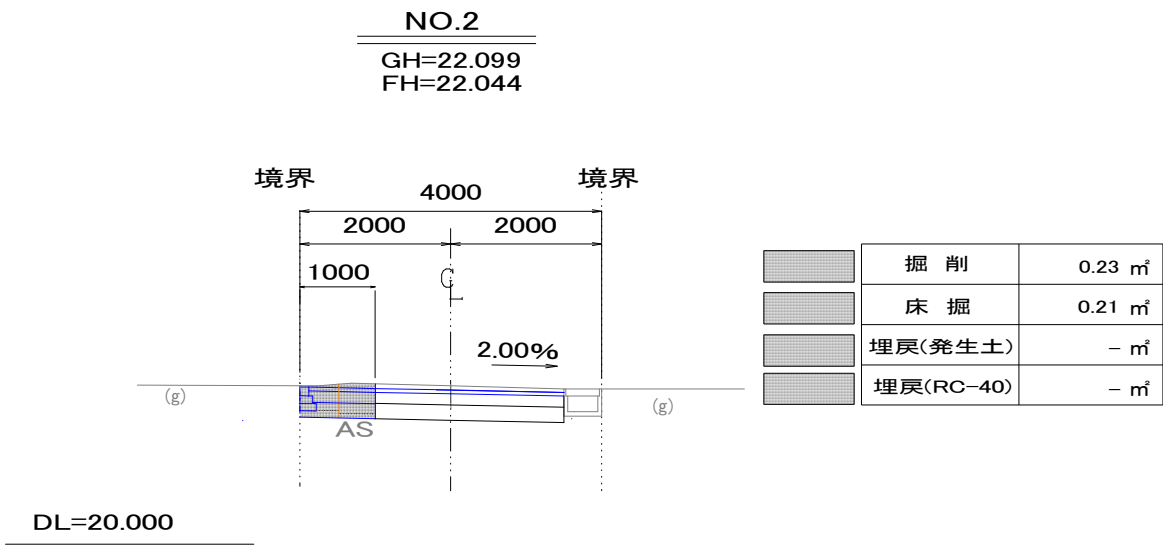
工 事 名	令和8年度 市道297号線拡幅改良工事		
路 線 名	市道297号線		
工事場所	海老名市上郷一丁目地内		
図 面 名	計画縦断面図	縮尺	V=1:100 H=1:250
図面番号	全 6 葉 の 内 第 2 号		
神 奈 川 県 海 老 名 市 役 所			

標準断面図
S=1/50



	令和8年度	
工 事 名	市道297号線拡幅改良工事	
路 線 名	市道297号線	
工事場所	海老名市 上郷一丁目 地内	
図 面 名	標準横断面図	縮尺 1 : 5 0
図面番号	全 6 葉 の 内 第 3 号	
神 奈 川 県 海 老 名 市 役 所		

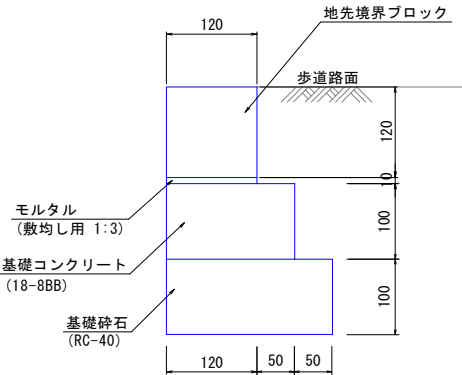
横断図
S=1/50



工 事 名	令和8年度 市道297号線拡幅改良工事		
路 線 名	市道297号線		
工事場所	海老名市上郷一丁目地内		
図 面 名	横断図	縮尺	1：50
図面番号	全 6 葉 の 内 第 4 号		
神 奈 川 県 海 老 名 市 役 所			

構造図

地先境界ブロック S=1:5



(10m当り)					
地先境界ブロック		基礎砕石	型 枠	基礎コンクリート	モルタル
JIS A 5371		RC-40		(18-8BB)	敷均し用 1:3
規格	(個)	(m2)	(m2)	(m3)	(m3)
120×120×600	16.5	2.2	2.0	0.17	0.01

工 事 名	令和8年度 市道297号線拡幅改良工事		
路 線 名	市道297号線		
工事場所	海老名市上郷一丁目地内		
図 面 名	構造図	縮 尺	図示による
図面番号	全	6	葉 の 内 第 5 号
海 老 名 市 役 所			

